

平成17年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
①	指標名	高齢者・身体・知的障害者の施設の定数確保			目標値	各施設の定員数の確保(95%以上)	実績値	96.4%
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	101.5%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: %)	別紙の通り	別紙の通り	別紙の通り				
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市のケースワーカー等と連携を強化して、入退所の事務をスムーズに行った。 ②利用者のニーズに沿ったサービスを行った。大地においては利用者の希望に沿った授産内容を選べるようにした。 ③施設旅行や日中の活動プログラムなどの行動単位をいくつもの小グループに分けて、より細かく行った(山びこ・ふれあいなど)。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○定員に満たない施設もあるので、定員確保のために引き続き努力していく。							
二次評価	●社福武蔵野は多種多様な施設(身体障害者通所授産施設、知的障害者通所授産施設、知的障害者通所更生施設、身体障害者デイサービス施設、心身障害児通所訓練施設、グループホーム、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム等)を設置し、運営している。 ●各施設の定員確保のためにさまざまな努力をしており、17年度には各施設の定員の96.4%を確保したため、目標を達成したと評価する。 ●引き続き利用者のニーズに沿った多様なプログラムを用意する等、サービスの充実を図ることが必要である。							
②	指標名	介護保険・支援費収入の増加			目標値	520,000千円	実績値	500,848千円
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	96.3%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 千円)	448,353	541,245	519,562				
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①自主財源確保のため、各施設の定員確保に努めた(別紙参照)。 ②介護保険の制度改正により、10月から食費・居住費が自己負担となったため、介護保険料収入が減り、利用料収入が増加した。 ③支援センターの介護保険料収入の減は、地域包括支援センター準備のための市の政策的な方針によるものである。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○介護保険は改正、支援費も障害者自立支援法に改正されることにより、今後の動向は流動的であるが、制度が変わろうと、健全な経営をしていくうえでの基盤の収入源であるには変わりないので、収入増に向けて努力していく。							
二次評価	●自律的な経営を目指し、自主財源を確保することは必要不可欠なことであるが、介護保険法の改正などの影響を受け、目標を達成できなかった。 ●今後は障害者自立支援法の施行等の制度改正に左右されないような収入の増加策を検討したり、あるいは支出の見直しを行うなどに取り組み、適切な新たな目標を設定し、健全な経営に努めなければならない。							
③	指標名	人事考課・給与制度の整備及び正職員削減			目標値	100名	実績値	101名
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	0.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 名)	103	102	101				
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①法人本部の派遣職員1名の引き上げ後は不補充とした。 ②平成17年度より職員給料表の改定を行った(人件費4%の減、年間1,040万円の削減効果を見込む)。 ③人事考課規程を整備した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○市からの派遣研修職員を1名受け入れたため結果として目標は達成できなかった。 ○給料の改定に伴い、経費は低く抑えた。今後も引き続き経営状況を見ながら極力削減に努める。							
二次評価	●人事考課の制度を整備したこと、給料の減額改定を行ったことなどから、職員数は目標値どおりとならなかったが、ほぼ目標を達成したと評価できる。 ●今後とも人事考課や給与制度の整備を行うとともに、職員数の削減に努め、民間との競争にも耐えられるよう、効率的な運営を図ることが必要である。							